

## 問題 E 口腔ケア・食事介助

問 1. 機能的口腔ケアについて正しいものを2つ選びなさい。

1. 唾液分泌改善効果がある
2. 歯の表面の汚れを除去する
3. 口腔周囲筋の訓練効果がある
4. 口腔細菌数の増加に有用である

問 2 唾液について正しいものを2つ選びなさい。

1. 耳下腺は粘液腺である
2. 唾液の嚥下を空嚥下という
3. 下口唇に大唾液腺の開口部はない
4. 口腔内に貯留する唾液はできるだけ多い方が良い

問 3 口腔ケアについて正しいものを2つ選びなさい。

1. 体位と頭の位置を考慮する
2. 部分的な義歯はできるだけ装着したままケアする
3. 摂食機能療法との関連をできるだけ考えて実施する
4. 清掃器具は個人の状態よりも施設内で統一すべきである

問 4 意識レベルが低下した片麻痺の患者の口腔ケアを在宅で実施する家族への説明で正しいものを選びなさい。

1. 「舌苔には触れないでください」
2. 「口腔ケアは肺炎（pneumonia）の予防になります」
3. 「入れ歯は装着したままでいいですよ」
4. 「麻痺側を下にした横向きでケアをしましょう」

問 5 口腔ケアの際に開口が難しい場合の対処法の組み合わせで正しいものを選びなさい。

1. 随意的に開口を保持することが困難⇒コミュニケーションを図り開口を促す
2. 口腔過敏⇒脱感作
3. 拒否⇒開口訓練
4. 口腔乾燥⇒開口を保持する道具の使用

## 問題 E 口腔ケア・食事介助

問 6 正しいものの組み合わせを選びなさい。

- a. 成人の1日の唾液分泌量は約300mlである。
- b. 全唾液の約60%が舌下腺から分泌される。
- c. 耳下腺は咬筋の内側を通過して臼歯部に開口する。
- d. 唾石は耳下腺より顎下腺に多くできる。
- e. 唾液分泌量の減少はう蝕の原因となる

- ① a, b    ② a, e    ③ b, c    ④ c, d    ⑤ d, e

問 7 次の食品のうち、嚥下障害のある高齢者にとって最も注意が必要なものを選びなさい。

- 1. 豆腐あんかけ
- 2. 煮ごり
- 3. バナナペースト
- 4. カステラ
- 5. アイスクリーム

問 8 食事の場面において、不適切と思われるものを選びなさい。

- 1. 意識の覚醒を促すため、食前に嚥下体操を行った。
- 2. 補聴器のスイッチが入っているか確認した。
- 3. 車椅子の座面の高さを調整した。
- 4. 食事に時間がかかり疲れがみえたため、一旦食事を中断した。
- 5. 襟元が汚れそうだったので、喉の高い位置でエプロンを止めた。

問 9 ゼラチンゼリーの特徴について間違っているものを選びなさい。

- 1. 滑りが良く口腔や咽頭に残留しにくい。
- 2. 温度による影響を受けやすい。
- 3. 口腔内の保持時間が長いと液体になる。
- 4. 加熱処理が必要。
- 5. 温かい物、冷たい物両方に利用可能

## 問題 E 口腔ケア・食事介助

問 10 嚥下しにくい食品の性質で該当する項目を選びなさい。

1. 食塊形成しやすいもの
2. 嚙まずにのみこめるもの
3. 喉に残りやすいもの
4. とろみのあるもの

問 11 嚥下しやすい食形態について該当しないものを選びなさい。

1. 強力な粘度があり、まとまりやすい。
2. 軟らかく、口腔や咽頭の形状にそって変形する
3. べたつかず、口腔内粘膜に付着しにくい
4. 密度が均一である

問 12 食事介助法における姿勢とスプーンの位置を図に示す。  
適切なのはどれか選びなさい。

1. a.
2. b.
3. c.
4. d.

